

「目に見えないもの」 「お金で買えないもの」を大切に

形ある物の大半はお金で買えます。車・時計・自宅……人間は目に見えるものに注意がいき、一喜一憂しています。お金は稼ぐ時より使うときにその人の品性が出てくると言えます。

人生にとって一番大切な健康とか睡眠、平安、食欲、美しさ、やさしさ、心地よさ等、形ないもの、目に見えないものはお金ではかえません。

ノルウェー人で詩人のアルネガール・ボルグは「お金」というタイトルの次のような詩を残しています。

食べ物はお金で買えるが 食欲は買えない
薬はお金で買えるが 健康は買えない
寝台はお金で買えるが 睡眠は買えない
化粧品はお金で買えるが 美しさは買えない
別荘はお金で買えるが 心地よさは買えない
快楽はお金で買えるが 喜びは買えない
友達はお金で得られても 友情は得られない
使用人はお金で得られても 忠実さは得られない
静かな日々はお金で得られても 平安は得られない

窓越しに太陽がさしこむ冬の昼間、リビングのソファに座っている私の膝の上で心許して昼寝をする猫の様子を見ていると何かしら心が和んできます。

時には、近づいてきて背中をなぞれ！・・・と催促に来ます。静かに背中からしっぽにめがけてさすると、お尻を持ち上げ、ゴロゴロと声をだし、気持ちよさそうに目を細めています。その様子に癒されます。人間、猫共に幸せな時間がながれているのです。

真夏の早朝、朝は4時位には明るくなります。大半の人が床に就いている時間です。日中、うだるぐらい暑く35℃ぐらいになる日でも早朝の外気はひんやりしています。雀のさえぎりを聞きながらの散歩は、まるで軽井沢や蓼科の別荘地にいるような贅沢な気分になります。早朝の静寂な中のヒンヤリ感、はひと時の幸せ感を与えてくれ、今という時の大切さを感じる瞬間です。太陽がでてから4時間ぐらいたつ8時ごろには空気もどんよりし夏の気候に戻ってしまいます。

駒沢公園の歩道橋の上や、多摩川河川敷の高台に位置している二子玉川公園からはるかかなた遠くに富士山がくっきり見えます。

日の出の時刻になると、朝日があたりを赤く染め、遠くの富士山にもあたり、刻々と富士山の色好き具合が変化するのです。その微妙に変化する光景は言葉に表せないくらい綺麗で、厳かな瞬間なのです。東京にいても日の出の時刻には自然界の光の営みが、素晴らしい光景をみせてくれるのです。ほんの数分間のドラマの一シーン、景色をみているような気になります……

生きているからこのような素晴らしい光景に出合えるのです。朝一番から心が洗われるような気分になり、心地よく幸せ感一杯です。有り難い！有り難いです！

まさに、早起きは三文の得、そのものです。ささやかな幸せ感で一日が始まります。

最近、世田谷区のシルバー人材センターに登録し、ご高齢家庭の庭の掃除・除草をやっています。暇な時間に上半身を鍛えようと思って始めたのです。依頼される方々は70歳後半から80歳を超えた女性の方が大半です。ご主人は世界され、自分で庭の手入れをしていましたが、自分の足腰も弱まり、世田谷区に頼んだ……という方が大半です。日本の高齢化現象の現実を見ている感です。

作業は自然の草木相手です。作業を通じて微妙な季節の変化を感じ、自分の精神衛生には良いと感じます。

当初、想定していなかったことですが、家々のお庭が綺麗になりその姿を見たお客様から、「うちの庭でないみたい、綺麗になった！有り難うございます！……また来てくれます！」とお礼の感謝の言葉をいただきます。

その言葉をお聞きすると、何か慈善事業をしたような気分になり、一つの達成感がこみ上げてきます。心地よいのです。

家々で庭の形状、植えてある草木の種類も違います。庭好きの私にとっては自分の家の庭が数十軒増えたような気分になり楽しいのです。各家庭への訪問が、自分の心ときめく時間になってきました。仕事を始める前にはこんなことは想像もしていませんでした。